

町の考え方を問う

一

般

質

問

6月定例会では教育問題・観光問題など、町政全般へ7名17項目にわたり質問がありました。なお、質問者及び質問項目は、次の表のとおりです。

- 村野由紀子 (P 4)
 - ・ 教育旅行の推進について
 - ・ メンタルヘルスケア (心の健康) について
- 川端祥介 (P 5)
 - ・ 箱根町の防災対策について
 - ・ 箱根町下水道事業の経営状況について
 - ・ 町の魚選定と制定について
- 折橋尚道 (P 5)
 - ・ 箱根町の都市公園の樹木管理について
 - ・ 統廃合による各学校の状況と箱根教育の実施について
- 勝呂昌子 (P 5)
 - ・ 国際観光地としてステップアップするために国際会議等の誘致の促進について
 - ・ 観光客のおもてなしを町一丸となって向上させるには
- 仙石有二 (P 6)
 - ・ 観光有料駐車場 (湯本大橋下) の利用方法について
 - ・ 交通渋滞対策について
- 二見嘉彦 (P 6)
 - ・ 消防の啓発活動について
 - ・ 介護保険等高齢者に対する町の取り組みについて
 - ・ 学校統合後の箱根教育について
- 山田和江 (P 6)
 - ・ 2市8町の合併問題について
 - ・ 後期高齢者医療制度は廃止を
 - ・ 仙石原小プール真横に計画されているワンルームマンション建設について

健康福祉 庶務

メンタルヘルスケア (心の健康) について

Q 次の2点について伺う。
1 心の病(そううつ病)における住民の実態や状況について

2 住民や職員の早期発見や健康維持に関する具体的な取り組みについて

A 箱根町の精神障害者の状況であるが、
「精神障害者保健福祉手帳」が交付されている方は3月31日現在で8人と非常に少ないのが現状である。

次に、通院者数であるが、町が「自立支援医療受給者証」を発行している69人の方が、主に近隣の医療機関に通院している。
次に、入院者数であるが、保険年金課が管理している国民健康保険のレセプトから抽出すると、3月31日現在で、10人の方が近くの病院に入院をしている。
2点目について、まず、住民への取り組みでは、窓口や電話での相談対応、保健師による家庭訪問、保健

所や医療機関と連携を図りながら支援を行っている。
また、さくら館で、「生活サポートセンターやすらぎ」が月1回相談会を開催しているほか、精神障がい者の方が社会参加していただくための活動の第一歩として、「生活教室」を毎月1回開設している。
次に、町職員への取り組みでは、管理監督者には日ごろからの面接や相談などによって、その職員の悩みや不安を受け止め、それらを解消するための努力をするように指導している。
また、年次休暇、夏季休暇などを利用して、うまく気持ちの切り替え、健康を維持するように促している。
なお、職員が「心の病」にかかった場合、庶務課が窓口となり、面談や専門家によるアドバイスの伝達など、少しでも職員が苦悩から解放され、早く職場に復帰できるようお手伝いしている。